

乳児と小児

- 乳児は「1歳未満」
- 小児は「1歳以上16歳未満（目安は中学生まで）」

胸骨圧迫と人工呼吸

- 心肺蘇生は成人と同様、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを絶え間なく続ける
- 成人との違い
 - ・胸の厚みの約1/3沈む深さまで強く圧迫
 - ・成人と同様、人工呼吸ができる場合は、気道を確認し人工呼吸を2回おこなう

乳児（1歳未満）の場合



両乳頭部を結ぶ線の少し足側を目安とする胸の真ん中を2本指で押す



人工呼吸は乳児の口と鼻を同時に自分の口で覆い、息を2回（1回1秒かけて）吹き込む

小児（1歳以上16歳未満）の場合

- 胸骨圧迫は胸の真ん中を片手で、胸の厚みの約1/3沈む深さまで圧迫（体格が大きければ成人と同様に両手でおこなってもよい）
- 人工呼吸は成人と同様の方法でおこなう

AEDの使用法

- 未就学児（6歳未満）には小児用AEDパッドを貼る
小児用パッドがなければ成人用パッドを使用
- 小児は体が小さいのでパッドを胸と背中に貼る
- AEDに小児用モードがある場合、小児用モードに切り替える

